

Robotics Report

新たな常識のはじまり

サービスロボット市場は 産業用ロボット市場を超えて 最大約4兆円市場へ

nikko am
fund academy



家庭用AI(人工知能)スピーカーやソニーの「aibo」を始め、一般ユーザーにも認知度が高いロボットが続々と登場し始めています。これらのロボットは「サービスロボット」と定義されており、今後の市場拡大が確実視されています。

そこで、今回はサービスロボット市場の展望を探ってみたいと思います。

■ さまざまなサービスを代替する新しいロボット

2006年に生産を打ち切られた家庭用ロボット「AIBO」(ソニー製)が、約10年以上の時を経て、17年11月に「aibo」として改めて販売されました。生まれ変わったaiboはAIを搭載し、学習、見守りなど新しい機能も追加され、グレードアップした姿を披露しました。

aiboのように、家庭や店舗、各種サービス領域において活躍するロボットは、総称して「サービスロボット」という言葉で定義されています。つまり、顧客とのコミュニケーション、清掃、接客、介護、調理、家事支援など幅広いサービスを、人間に替わって担うロボットです。わずかに2~3年前まで、業界関係者のなかでは、サービスロボットの成功例は「ルンバのような掃除ロボットが唯一」と言われてきました。しかし、最近では家庭用AIスピーカーや警備用ロボットなど新たなサービスロボットが活躍しており、新製品も続々と登場するとみられます。

IFR(国際ロボット連盟)は、「プロフェッショナルサービスロボット(医療・流通・現場サービスなどの専門領域)」の世界市場規模が、17年末までに約52億米ドル(5,876億円)に達し、その後、20年まで年平均20~25%成長すると予測しています。さらに、ドイツ機械工業連盟のGudrun Litzenberger氏の予測では、20年には約270億米ドル(約3兆円)まで同世界市場規模が拡大すると指摘しています。一方、IFRは掃除用ロボットなど、家庭で使用される「パーソナルサービスロボット」の市場推移にも注目しており、20年までに約110億米ドル(1兆2,430億円)まで拡大すると予測しています。

※1米ドル=113円

仮に、予測通りとなれば、サービスロボット市場は約4兆円市場に成長することになります。

■ 国内でも商業用サービスロボットの導入が加速

日本のサービスロボットとしてはソフトバンクのPepperがすでに有名ですが、その他にも相次いで新製品が登場しています。例えば、ファミリーレストランを運営するリンガーハットの生ぎょうざ直売所「GYOZA LABO」では「箱詰めロボット」が稼働し、注目を集めています。H.I.S.ホテルホールディングスは、ロボットが受付やクロック業務などを行なう「変なホテル」(現在3軒)を、18年度までに10軒新設の計画を発表しています。



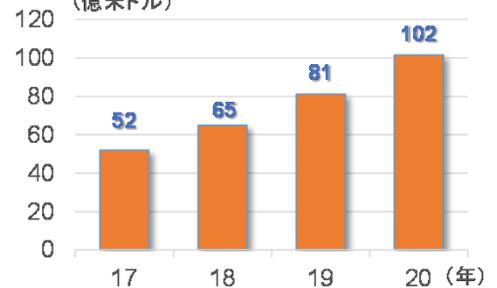
※写真はイメージです

生活の質を向上させ、ライフスタイルを変える身近なロボティクスはまだまだ発展途上です。世界の多くのロボット関連団体や調査会社は「いずれ産業用ロボット市場よりもサービスロボット市場が大きくなる」と口を揃えており、ロボット産業の未来をけん引するであろうサービスロボットの成長に、期待が膨らむばかりです。

上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有、非保有、および将来の個別銘柄の組み入れまたは売却を示唆するものでもありません。

(当レポートは、株式会社ロボティアの情報をもとに日興アセットマネジメントが作成しています。)

【プロフェッショナルサービスロボットの市場規模予測】



出所: IFR Press Release 「Why service robots are booming worldwide」の予測をもとに日興アセットマネジメントが試算 ※グラフは予測および試算であり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントがロボティクスに関する情報についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。